

津波・高潮ハザードマップ

津波・高潮に対するハザードマップ、なくても大丈夫ですか?

●津波に対する現況

- ・想定東海地震の震源が見直されたことにより三重県·愛知県などが新しく地震防災対策強化地域に指定されました。
- ・「東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する 特別措置法」が成立し一年以内に施行されます。
- ・東海·東南海·南海地震津波研究会(会長:京都大学防災研究所河田教授)など学識経験者による研究も盛んに行われています。

なぜか?



東海·東南海·南海等の巨大地震は近い将来 必ず発生します。

津波による被害は甚大なものになることが 予想されます。

少しでも被害を軽減させる必要があります。

●高潮に対する現況

- ・平成 11 年台風第 18 号によって熊本県、山口県では高潮による被害を受けました。
- ・平成11年10月に高潮災害対策に関係する7省庁に より「高潮災害対策の強化に関する連絡会議」を設置。
- ・7省庁によりパンフレット【高潮災害とその対策】が 発行されました。



なぜか?

近年においても既往を上回る規模の高潮が発生 しています。

また、都市の地下利用などによって新しい災害の 可能性も広がっています。



しかし!

高潮は津波と異なり発生の予測が可能であり、避難までの時間があるため人的被害を大幅に軽減できます。



そのためには....



以下の情報を盛り込んだ津波・高潮ハザードマップが必要です。

- ・避難場所、避難ルートの確保
- 浸水域の予測
- 津波到達時間の推定

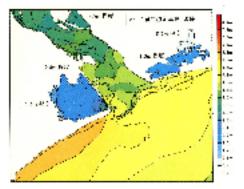


地域住民の防災意識の向上

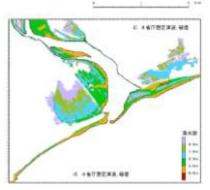


●シミュレーション作成事例

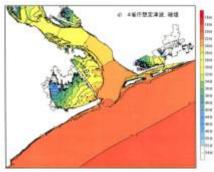
数値シミュレーションにより、津波の到達時間や浸水深がわかります。時間的な変化が追えるため避難経路 を適切に設定できます。当社の津波・高潮に対する豊富な検討ノウハウで、ニーズに即したコンサルティン グを行います。



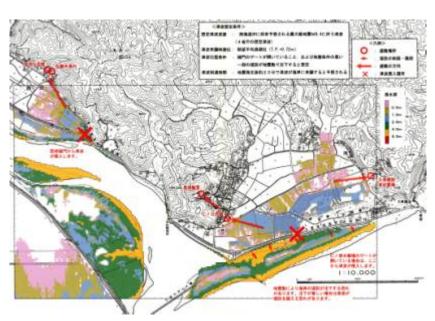
最高水位分布



最高浸水深分布

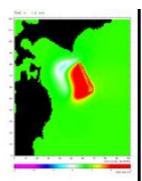


津波到達時刻分布

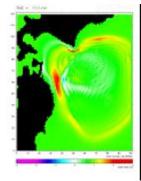


津波ハザードマップ作成事例

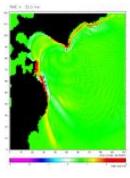
●近地津波数値シミュレーション例 (1968年 十勝沖地震津波の再現計算)



十勝沖地震津波発生



三陸沖を伝播する津波



三陸、北海道へ到達 (32分後)